

平成26年度 研究開発助成事業 福祉産業共同研究事業（7件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
1	<p>メカトロ積み木を用いた視覚性記憶トレーニングツールの開発</p> <p>高次脳機能障害の一つである記憶障害に関するトレーニングツールを開発する。ここでは、視覚性記憶に焦点を当て、メカトロ積み木のインタラクション機能を活かしつつログ機能を付加することにより、記憶の側面である注意や集中力、遅延再生の効果的なトレーニングが可能な新しいツールを開発する。</p>	<p>三谷 篤史 [札幌市立大学 デザイン学部／講師] 遠藤 俊一郎 [(株)遠藤木型 /専務取締役] 松浦 和代 [札幌市立大学 看護学部／教授] 石井 陽史 [市立札幌病院リハビリテーション科／作業療法士] 細川 亜希子 [市立札幌病院リハビリテーション科／作業療法士] 安田 花織 [市立札幌病院リハビリテーション科／作業療法士]</p>
2	<p>ABS 骨盤サポートの製品化に向けた改良と臨床的効果の検証</p> <p>昨年度の貴財団補助金を得て ABS 骨盤サポートを開発した。ABS 骨盤サポートは北海道大学から特許を共同出願準備中である。引き続き、本年度は ABS 骨盤サポートの製品化に向けての改良とマニュアル作成、ABS 骨盤サポートの効果を臨床現場にて検証することを研究課題とした。</p>	<p>八田 達夫 [北海道大学大学院 保健科学研究所／教授] 西村 重男 [北海道立心身障害者総合相談所／主任] 岸上 博俊 [北海道大学大学院 保健科学研究所／助教] 藤本 欣也 [(株)特殊衣料／取締役商品企画部長] 森 久見子 [(株)特殊衣料／商品企画室長] 佐藤 桂太 [(有)北進医療機器／営業]</p>
3	<p>中高齢者の QOL 向上に資するヨガプログラムの開発にむけた自律神経系データの集積・評価</p> <p>ヨガの健康増進効果についての科学的エビデンスは十分ではない。また、ヨガは中高齢者が取り組みやすい特質を持つものの、実践している多くは若年女性である。そこで本研究開発事業では、中高齢者の QOL 向上を目的に、エビデンスを伴う有効なヨガプログラムの開発を目指し、自律神経系データの集積と評価を行うものである。</p>	<p>神林 勲 [北海道教育大学教育学部札幌校／教授] 福士 宗光 [(株)サッポロケルプ／代表取締役] 江口 亜希子 [(株)サッポロケルプ／ヨガライフスクール主任] 須合 きよみ [(株)サッポロケルプ／ヨガライフスクール主任] 源 明美 [(株)サッポロケルプ／ヨガライフスクール] 木本 理可 [旭川工業高等専門学校／准教授] 塚本 未来 [東海大学札幌キャンパス／特任助教]</p>
4	<p>熱画像センサを用いた高齢者、障がい者の見守り・緊急通報システムの開発</p> <p>高齢者や障がい者を対象とし、熱画像センサによる二次元の温度データを用い、プライバシーに配慮しながら介護者や医療者などに対して寝室・トイレ・浴室などの生活動作について正常時は見守りを、ヒートショックの可能性がある場合や転倒転落時は瞬時に異常を通報するシステムを開発する。</p>	<p>宮坂 智哉 [北海道科学大学保健医療学部／教授] 東海林 正敬 [(有)リトルスノー／代表取締役]</p>
5	<p>車いす使用者に対する簡易的心身評価システムの開発</p> <p>認知症などで車いす使用時の主観的情報がえられないままに、車いす提供がされている現状にある。申請者は過年度に客観的に車いす使用者の快適性を定量的にストレス評価が可能となるような評価バッテリー指標を開発した。今年度は Kinect センサデバイスを利用した、車椅子心身評価システムの開発を目的とする。</p>	<p>昆 恵介 [北海道科学大学 保健医療学部／准教授] 早川 康之 [北海道科学大学 保健医療学部／教授] 春名 弘一 [北海道科学大学 保健医療学部／講師] 稲垣 潤 [北海道科学大学 工学部／准教授] 安田 義幸 [(株)馬場義肢製作所／代表取締役] 土方 豊 [(株)馬場義肢製作所／義肢装具士]</p>

平成26年度 研究開発助成事業 福祉産業共同研究事業（7件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
6	<p>アロニア栽培を活用した健康寿命延伸生活モデルの研究開発</p> <p>高齢者が自宅で固定化されやすい生活スタイルの改善を目的とし、身体に負担をかけない小果樹アロニアの栽培と園芸療法の手法を組み合わせた交流型生活スタイルの研究を行う。さらに抗酸化力（ORAC 値）が高いアロニアの果実を食生活に取り入れることにより、生活習慣病予防につなげ、健康寿命延伸生活モデルを確立する。</p>	<p>田島 健 [NPO 法人ケアドゥフォーラム／正会員] 吉崎 俊一郎 [札幌国際大学 人文学部 心理学科／講師] 佐渡 七重 [NPO 法人ケアドゥフォーラム／正会員]</p>
7	<p>センシングデバイスを活用した運動の評価システム構築</p> <p>運動機能と認知機能を改善する効果があるふまねっと運動が社会的に評価されているが、参加者に簡易なセンシングデバイスを装着することによって、リズムや着地圧、ステップの正確性等の評価システムを構築することで、運動への参加を促すとともに介護予防に資するものである。</p>	<p>中島 康成 [(株)スマートサポート／常務取締役] 北澤 一利 [NPO 法人地域健康づくり支援会ワンツースリー／理事長、 北海道教育大学 釧路校／教授] 森 満 [札幌医科大学／教授] 田中 孝之 [北海道大学大学院情報科学研究科／准教授]</p>